

製品名: リン酸化エストロゲン受容体 α (Ser167) ウサギポリクローナル抗体

カタログ番号: APRab00948

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF
反応性	人間
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、 -20°C で保存してください (12 ヶ月有効)。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% アジ化ナトリウムを含む PBS 液 (pH 7.3)。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:100-1:200
分子量	Calculated MW: 66 kDa; Observed MW: 66 kDa

抗原情報

遺伝子名	ESR1
別名	ESR1; Era; Eralpha; Estrogen receptor; Estradiol receptor; ER-alpha; Estrogen receptor 1; NR3A1; ER; ESR; ESRA; Estrogen receptor alpha
遺伝子 ID	2099
SwissProt ID	P03372
免疫原	標的タンパク質の残基に対応する合成リン酸化ペプチド

背景

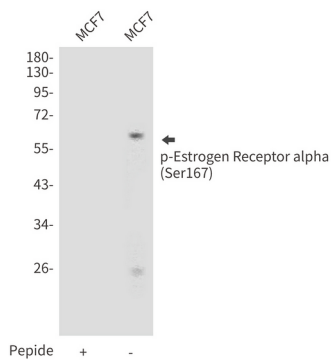
ER (エストロゲン受容体 1) はステロイド受容体スーパーファミリーに属し、高度に保存された DNA 結合ドメイン (DBD) とリガン

ド結合ドメイン (LBD) を有する。エストロゲン非依存性およびエストロゲン依存性活性化ドメイン (それぞれ AF-1 および AF-2) を介して、ER はコアクチベータータンパク質をリクルートし、転写機構全体と相互作用することで転写を制御する。リン酸化は ER 活性を制御する重要なメカニズムであり、ER は複数の部位でリン酸化される。

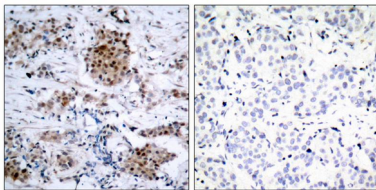
研究分野

シグナル伝達

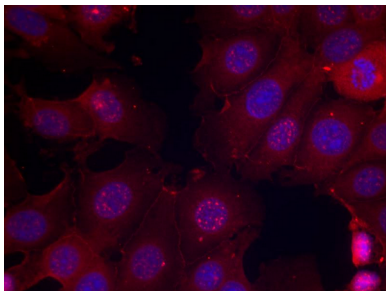
画像データ



ホスホエストロゲン受容体アルファ (Ser167) 抗体を使用した MCF-7 溶解物中のホスホエストロゲン受容体アルファ (Ser167) のウェスタンブロット分析。



エストロゲン受容体 (リン酸化 Ser167) 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト乳癌組織の免疫組織化学染色。抗原賦活化には、高圧高温クエン酸ナトリウム (pH 6.0) を使用しました。右側はブロッキングペプチドを添加したサンプルです。



エストロゲン受容体 (リン酸化 Ser167) 抗体 (赤) を使用した MCF-7 細胞におけるリン酸化エストロゲン受容体アルファ (Ser167) の免疫蛍光分析。